

## 第93回登別市市民自治推進委員会 育み部会議事録

(敬称略)

開催日時	令和7年11月19日(月)18時00分～
開催場所	アーニス 2階 あえる STATION
出席者	(部会長) 磯田大治 (副部会長) 平石崇広 (部会員) 合田美津子、毛利憲二、仲川弘誓、松山哲男、 正源孝志 (庁内委員) 大越智輝 (事務局) 大内拓海、坂上竜也
欠席者	(部会員) 佐藤文子、大坂倫一 (庁内委員) 西川原邦彦
議題	育み部会絵本コーナーについて
配布資料	なし

### ○会議の要点

#### 1 新任の育み部会員の紹介

- ・本日新任の部会員が出席していたため紹介を行った。

#### 2 本日の協議

##### (1) 第41回～第46回絵本コーナー「ブックファームあーにす」の振り返り

- ・第41回絵本コーナーの担当団体は「おはなしりぼん」。
- ・当日は、4組の親子が来場していた。
- ・絵本の読み聞かせの他に、折り紙やパネルシアターを実施していただいた。
- ・第42回絵本コーナーの担当団体は「EHO ボラ」。
- ・当日は、2組の親子が来場していた。
- ・絵本の読み聞かせの他に、マジックショーを実施していただいた。
- ・第43回絵本コーナーの担当団体は「パラテク」。
- ・当日は、1組の親子が来場していた。
- ・絵本の読み聞かせの他に、セロハンと折り紙による花火の工作を実施していただいた。
- ・第44回絵本コーナーの担当団体は「EHO ボラ」。
- ・当日は、2組の親子が来場していた。
- ・絵本の読み聞かせの他に、なぞなぞを実施していただいた。
- ・第45回絵本コーナーの担当団体は「おはなしりぼん」。
- ・当日は、2組の親子が来場していた。

- ・絵本の読み聞かせの他に、しりとりやあやとりを実施していただいた。
- ・第46回絵本コーナーの担当団体は「パラテク」。
- ・当日は、2組の親子が来場していた。
- ・絵本の読み聞かせの他に、勤労感謝の日に合わせた工作を実施していただいた。

## (2) ブックファームあーにす活動団体意見交換会の結果

- ・ブックファームあーにすへの参加者が少ないということもあり、アーニスという場所がわかりづらいのではないかと、開催場所を幼稚園や児童館など、別の場所での開催を今後考えていく必要があるのではないかと、図書館と連携して事業を行うこともいいのではないかと、という意見があった。
- ・このことから、ブックファーム現在の取り組みについて、根本的に見直しが必要なのではないかと、育み部会で問題提起をし、今後について協議していただきたい。

## (3) 意見交換会の結果を踏まえて

- ・ブックファームあーにすの参加者が少ないのもあるが、アーニスで子連れのお客さんを見かけることが少ない。目的はいいが、実効性はどうか。先程お話しがあった図書館や児童館では、絵本を読んでもらっている。絵本の感想を書くノートも寄贈していたが、読むと皆さん関心を持っている。教育委員会の図書館との連携もあるだろうし、児童館を所管している部との連携とか、登別全体として本との付き合いというものをどうあるべきかってどこまで考えていかなきゃいけないのかなと思う。
- ・読みきかせの機会を増やすのであれば、児童館や幼稚園、保育所に出向いた方が習慣が付き、入り口になるのではないかと。
- ・こっちから出向いて、絵本の魅力を感じてもらおうという取り組みが大事だと思う。
- ・ブックファームあーにすができた経緯を振り返ると、そもそも育み部会の中で、図書館にどうやって人を集めるかという相談事があり、そこから議論しながら、本に触れる機会を増やすためには、小さい子どもたちが大事だよねという話になって、読みきかせの団体さんの話聞きましょうと、そこから派生してできた。
- ・今まで40何回開催してきたことが決して無駄だとは全く思わないが、個人的にちょっと目的化していないかなと思う。1組しかいない中で2時間拘束されるとか、これを杓子定規にやらなきゃいけないという雰囲気になってきてるなどは思っていた。
- ・一方で、ついこの間まで図書館をどうするかを検討会議があって、その議論をはぐくみ部会の中ですることは大切だと思うが、今このブックファームあ

- 一にすの今後どうするかっていう話を一緒にやると、話が大きくなり、結局やれないということになると思うが、いかがか。
- ・分けて考えるべきだと思う。根本の部分は一緒だが、ひとつのきっかけとしてのブックファームでの絵本の読みきかせがあり、図書館の利用等に興味を持ってくれる方が増えてくれるといいなという目的のひとつのきっかけである。
  - ・ただ、50回近く開催してきて、やっただきさっている方のモチベーションも下がっていると思う。ブックファームあーにすはこれからも必要だと思うが、やっただきさる方のことも考えなければいけない、となると出前講座になるのではないか。
  - ・例えば3歳児健診で、興味があればお子さんと寄ってみてくださいと案内を出してもらって、それをきっかけに興味を持ってもらえとかいろいろな戦略を試みるのもいいのではないか。
  - ・子どもたちがいる場所に出向き、きっかけを作る時期になってると思う。
  - ・20分ぐらいの時間で、子どもたちは満足してまた教室に戻る。たくさん子どもたちへ児童クラブとかで読み聞かせするのもいいと思う。
  - ・過去、検診時に読み聞かせをやったとすれば3～4年前の話で、その子どもたちが小学校に上がるか上がらないかの子たちになる。今の現状で、この抱えてる問題が解決できてないということは、そのやり方と同じになるのかなと少し思った。であれば児童クラブや、あるいは中休みの時間の学校図書とか、より充実したほうがいいのではないか。
  - ・第50回でワークショップ的なことをやり、そこでブックファームあーにすの現状を一旦区切るのはどうか。
  - ・実際小学校では、手がけている人たちが沢山いる。やってみてもいいと言っただきさる小学校でやるのはどうか。
  - ・学校側の都合もあるため、相談しながら都合のいいところとやっていけば、ここで毎回やって効果が上がらないよりは、手応えは出るし、効果も高くなると思う。
  - ・いずれにしろ、学校の先生たちや保護者のご意見もいただき、その中でどうということやるか決めないと、同じことの繰り返しになると思う。
  - ・では、50回目は戦略会議にしてはどうか。
  - ・子どもにも興味持ってもらおう仕掛けも必要だが、絵本を読んでもくれる親御さんもいっぱい育てていかなきゃいけないと思う。
  - ・今すべきなのは、50回も続いているブックファームあーにすを派生的・効果的なものに切り替えるには、どうしたらいいかという議論が必要だと思う。
  - ・方向性としては小さいお子さんがいて、保護者もいるところに行けば、両方を育成できると思う。

- ・知的財産を保全をする場所の必要性とかを改めて理解してもらい取り組みが必要であって、図書館という名前を出さない方がいいんじゃないかと思う。その方が市民の皆さんに納得していただいて、理解してもらえと思う。
- ・では、これからの育み部会では考えながら進めていくのはどうだろうか。
- ・読み聞かせ団体さんのアイデアももらったほうがいいのではないか。
- ・読んでくれる人の数を増やす必要がある。
- ・毎週とか毎月と決めず、イベント的に開始するのでいいのではないか。機会を確実にしていくって意味では、1組しか来てくれないような状況を毎月毎月っていうよりは、幅広く、ブックファームを、種をまいて育てるって名前のため。
- ・とりあえず、今の形は49回目で一区切りを終えて、何かしらを考える。それ以降は次の部会で協議したい。
- ・次回の部会は読みきかせ団体さんの都合に合わせて、開催する。

#### (4) 今後の予定

- ・第47回ブックファームは12月20日(土) 10:00~12:00。
- ・第48回ブックファームは1月17日(土) 10:00~12:00。
- ・第49回ブックファームは2月21日(土) 10:00~12:00。

## 2 次回の育み部会について

日時：令和8年2月頃 18:00~(予定)

場所：アーニス2階 あえる STATION2